

2017年4月28日

クールジャパン機構

(株式会社海外需要開拓支援機構)

アジア広域でのライブホール展開事業に出資 —日本の音楽産業の海外市場開拓を支援—

クールジャパン機構は、ライブホール「Zepp」を展開する株式会社Zeppホールネットワーク（以下、Zepp社）に対し、アジア広域でのライブホール開設・運営資金として、新規発行株式引受を通じ最大50億円の出資を決定しました。

クールジャパン機構は、本事業を通じ、日本のアーティストがライブ公演活動を通じて海外各地の消費者とのコミュニケーションを継続できる拠点として、国内と仕様を統一した「Zepp」をアジア各都市にて整備することにより、国内ツアーの延長線上でアジア公演を行うことができる「アジア広域ライブホールネットワーク」を構築し、日本の音楽産業の海外市場開拓を支援します。

日本の音楽関連事業者は、近年、ライブ公演市場が拡大を続ける中、潜在成長力があり、地理的にも近いアジア広域での公演開催に強い意欲を持っています。

一方、アジア地域の主要都市では、急速なライブ需要拡大を支えるインフラ等の整備が発展途上のため、適切な収容人員規模の会場が不足しており、また、現地で調達できる機材が質・量ともに不安定であることから日本からの機材持ち込みなどに追加のコストがかかる状況です。これらの結果、開催費用がかさむことが、音楽関連事業者が収益事業としてライブ公演を継続するための課題の一つとなっています。

こうした中、Zepp社は、オール・スタンディングにて2千人前後収容の会場規模で、舞台機構・照明・音響等の仕様を統一したライブホール「Zepp」を国内主要都市に供給することでアーティストがライブ公演のコスト低減を実現できる環境を各地で整備し、日本のライブ公演市場の発展を支えてきましたが、近年のアーティストの海外進出意向の高まりを受け、そのネットワークをアジア広域へと拡充しようとしています。

クールジャパン機構は、アジア市場における日本のライブエンタテインメントの需要開拓事業に取り組むため、アジア広域でのライブホール開設・運営資金として、Zepp社の親会社

である株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントとともにZepp社に対して出資することを決定しました。そのうち、クールジャパン機構は最大50億円を出資します。

本件出資により、シンガポールやクアラルンプールなどの各都市に、国内既存ホールと仕様を統一したライブホールを、日本のアーティストがライブ公演活動を通じてアジア各地の消費者とのコミュニケーションを継続できる拠点として整備します。そして、2020年前後を目途に国内外10都市以上に跨る「アジア広域ライブホールネットワーク」を構築します。また、各地プロモーターやメディアとのマッチング等も支援しながら、日本のアーティストが収益事業として海外公演を継続できる環境を整備します。

クールジャパン機構は、本事業を通じ、日本の音楽産業の海外市場開拓を支援します。また、当機構による他の出資先を含む既アジア進出事業者等との連携を通じ、音楽をはじめとするエンタテインメント、メディアコンテンツや食文化など、クールジャパン（日本の生活文化）の発信拠点として「Zepp」ホールを活用し、インバウンド需要を喚起することを目指します。

[株式会社 Zepp ホールネットワークについて]

所在地 東京都港区六本木3丁目16番33号
設立 1997年6月
資本金 4億8,000万円
代表取締役 妹尾 智
事業内容 国内外に展開するライブホール「Zepp」の運営などベニュービジネスを展開
ホームページ <http://www.zepp.co.jp/>
既存拠点 東京（2拠点）、大阪（2拠点）、名古屋、札幌

[株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントについて]

所在地 本社 東京都千代田区六番町4番地5
創業 1968年3月
設立 2003年4月1日（新設分割）
資本金 1億円
代表取締役 水野 道訓
事業内容 ソニーミュージックグループのヘッドクォーターとしてグループ全社の経営・管理を行うとともに、総合エンタテインメントカンパニーとして多角的にビジネスを展開
ホームページ <http://www.sme.co.jp/>

(参考)

アジア広域でのライブホール展開事業に出資 —日本の音楽産業の海外市場開拓を支援—

[プロジェクト・スキーム図]



[Zeppホールの一例：Zepp大阪ベイサイド]



2017年2月オープン



収容人数:スタンディング時2,801人